



カナダ・ドルの動向について

2017年9月6日、カナダ銀行(中央銀行、以下BoC)は政策金利である翌日物貸出金利の誘導目標を0.25%引き上げ、1.00%にすると発表しました。BoCは、2010年以来7年ぶりとなる利上げを7月に行っており、今回の利上げは今年2回目となります。多くの市場関係者が追加利上げの時期は10月になると予想していた中で、驚きの発表となりました。この発表を受け、9月7日のカナダ・ドルは対円で89.22円*(前日比+1.7%)とカナダ・ドル高/円安となりました。

* 株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値

カナダ経済は、原油価格の底打ちや政府の景気刺激策の効果などから実質GDP成長率が、2017年第1四半期が3.7%(年率)、第2四半期は4.5%(年率)と市場予想を上回る伸びとなっています。BoCは今回の利上げ発表における声明で、経済成長がより広範囲に広がり、自立的になりつつあると説明、堅調な個人消費や雇用、所得などを挙げ、国内経済の先行きに自信を示しました。

カナダ・ドルは、堅調な経済成長を背景に米国に続いて継続的な利上げ局面に入る可能性があることや、原油価格が底堅く推移していることなどから、引き続き強含みで推移すると考えられます。

ただし、インフレ率が目標の2%を下回る状態が続いていることや、過度なカナダ・ドル高は輸出に悪影響となることなどから、BoCの強気な利上げスタンスに変更がみられる場合には、カナダ・ドル安になる可能性もあります。今後の経済指標やBoCの動向には引き続き注視する必要があります。

カナダ・ドルの推移
(2007年8月31日～2017年9月6日、日次)



出所: ブルームバーグのデータをもとにマニユライフ・アセット・マネジメント株式会社が作成

WTI原油先物価格の推移
(2007年8月31日～2017年9月6日、日次)



カナダの政策金利と10年国債利回りの推移
(2007年8月31日～2017年9月6日、日次)



[当資料に関する留意事項]

- 当資料は、マニライフ・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」といいます)が、投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、特定の投資商品の推奨を目的としたものではありません。
- 当資料記載のデータや見通し等は、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報をもとに作成しておりますが、正確性、適時性を保証するものではありません。
- 当資料の内容およびコメントは資料作成時点における経済・市場環境等について当社の見解を記載したもので当該見解は予告なく変更される場合があります、将来の経済・市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 各指数に関する著作権等の知的財産、その他一切の権利は、各々の開発元または公表元に帰属します。
- 投資信託のお申込みの際は、必ず最新の投資信託説明書(交付目論見書)で商品内容をご確認の上、ご自身で投資のご判断をお願いいたします。
- 当資料に関する一切の権利は、引用部分を除き当社に属し、いかなる目的であれ当資料の一部または全部の無断での使用・複製はできません。

マニライフ・アセット・マネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第433号
 加入協会:一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会